



全国に先駆け！

神奈川県で福祉用具個別援助計画書を使ったケアマネ研修

去る7月2日(土)、神奈川県で、ケアマネジャーを対象に福祉用具個別援助計画書(以下、「計画書」)の作成研修「『福祉用具個別援助計画書』の有益な利用方法～福祉用具専門相談員の作成手順を共有する～」が行われた。主催はNPO 法人神奈川県介護支援専門員協会。ケアマネジャーが福祉用具専門相談員(以下、「相談員」)に福祉用具を依頼する際、「なぜ必要か」、「どのようなものが必要か」といった情報までは伝えられていない現状がある。そのような中主催者には、ケアマネジャーと相談員の連携が必要なのはもちろん、細部にまで目を向けることでサービス全体の整合性を考えられるケアマネジャーを育てたいとの思いがある。ふくせんは「アドバイザー」として相談員(ふくせん会員)を派遣し、協力を行った。ふくせんでは本年度厚生労働省平成 23 年度老人保健健康増進等事業の助成を受けて、ケアマネジャーと相談員の合同研修を行うが、今回の研修は全国に先駆けた試みだ。

福祉用具個別援助計画書とは

導入の講義を行ったのは、
 本会理事でもある渡邊慎一氏
 (横浜市総合リハビリテーショ
 ンセンター医療部理学・作業
 療法課長)。5月19日にまと
 められた第6回「福祉用具に
 おける保険給付の在り方に
 関する検討会」の報告書をも



講師：渡邊慎一氏

とに、「計画書の目的と内容」を説明した。福祉用具については、現在計画書の作成が義務付けられておらず、個々の利用者に応じた福祉用具選定の考え方等を客観的に評価し、関係者間で共有、継続的にモニタリングを行う仕組みが不足しているのではないかと指摘がある。『「選定の考え方等の客観的な評価」』は、まさに計画書の目的。ケアプランと同等の考え方でもあり、ケアマネジャーと相談員が双方を客観的に評価できるようになる。』(同氏)



講師：山本一志氏

演習を行うにあたり、ふくせん事務局長の山本一志氏からは、計画書の書き方の具体的な説明が行われた。ケアマネジャーは研修以外で計画書を作成する機会はないだろうが、熱心に耳を傾ける姿が見られた。計画書は、ケアマネジャーの作るケアプランをもとに作成する。しかし、現実にはケアプランをもらえない相談員もいるという。山本氏は、「このような研修を通してケアマネジャーの方々にも理解を深めていただきたい」と期待を述べた。

福祉用具個別援助計画書作成研修

研修のメインであるグループワークは、模擬事例をもとに計画書を作成するというもの。テーマは「身体に負担をかけない快適な自立生活を支援」。ケアマネジャーが初めての計画作成をスムーズに行えるよう、各グループに2名のアドバイザーがつく。司会を務めた露木昭彰氏(神奈川県介護支援専門員協会副理事長)からは、「体験を通して、計画書の存在を知るとともに、相談員の専門性を知ってほしい」と、この研修の狙いが伝えられた。



司会の露木昭彰氏

◆事例◆

- ・利用者：女性 88 歳 要介護1 腰部椎間板ヘルニア
 及び腰椎圧迫骨折からくる腰痛
- ・主な内容：ひどい腰痛で、体位変換、起居・起立動作
 に辛さを感じている。夜間頻尿。精神的に不安定で、
 他人の目を気にする様子がうかがえる。
- ＜事例提供者：宮本雄大氏(ふくせん会員)＞

計画書作成後、各グループで発表を行った。どのグループも「特殊寝台を導入するか否か」が議論の中心となったようだ。特徴的だったのは、家具調ベッドの導入を提案したグループ。「人目を気にするご利用者への配慮」とのことだった。ケアマネジャーらしいきめ細やかな心遣いが見られ、普段から計画書を作成しているアドバイザーの面々からも、一様に「勉強になった」という声が聞かれた。

グループワークを終えて

渡邊氏は、「福祉用具を選定する際には、①動作の細かい分析(どれぐらい足があがる?段差は?など)、②福祉用具と身体の適合、③生活全体の導線まで考えてほしい」と言う。「どのグループも、福祉用具に頼りすぎることによって機能をおとすのではないか、という話し合いまでなされたことがうれしい」と感想を語った。

山本氏は、日頃からケアマネジャーと相談員の距離を

縮めたいと思ってきた。「サービス担当者会議で意見を言えない相談員は、それだけの知識・技術がないということ。『来るな』と言っていたらかまわない」(同氏)。相談員が福祉用具のフォローをし、互いにコミュニケーションを深めながら密度の濃い関係を保っていく、それが山本氏、ひいてはふくせんの願いである。

最後に主催の露木氏は、受講したケアマネジャーに「ぜひ今日学んだことを職場や地域で実践、啓発してほしい」と伝え、研修を締めくくった。

研修の様様 ～フォトギャラリー～

アドバイザーとしてご協力くださった3名の福祉用具専門相談員(ふくせん会員)。

グループワークで取り上げた事例の説明をする、事例提供者の宮本雄大氏(ふくせん会員)。



安井俊樹氏



水越良行氏



田丸義紘氏



グループワークの様子



グループの成果発表